

WEBで簡単！ 認知症チェック



「家族・介護者向け / 本人向け」を選択可能

認知症は早期発見が重要です。早期に治療をすることで症状が改善したり、進行を遅らすことができる可能性があります。町ホームページから認知症のチェックが簡単にできます。チェック結果と一緒に認知症の相談機関が表示されます。ぜひご利用ください。

三芳町簡易チェック



問 地域包括支援センター ☎ 049-258-0019 内線 188・189

認知症サポーター養成講座

県の講習を受けた職員などが講師として、認知症の症状や予防、認知症の人への対応方法など、認知症に対する基礎知識を学習する講座を開催します。

10人程度の人数が集まれば、自治会・企業などでも無料で講師を派遣します。下記へご相談ください。

日程 時間
1月25日(水) 14:00 ~ 15:30

会場
中央公民館

問 地域包括支援センター ☎ 049-258-0019 内線 188・189

こんなことがあったら 認知症の症状かもしれません

- 同じことを言ったり聞いたりする
- 物の名前が出てこなくなった
- 以前あった関心や興味が失われた
- 置き忘れやしまい忘れが目立つ
- 日課をしなくなった
- 時間や場所の感覚が不確かになった
- だらしなくなった
- 計算間違いが多くなった
- ささいなことで怒りっぽくなった
- 蛇口やガス栓の締め忘れが目立つ
- 財布を盗まれたと言う
- 慣れているところで道に迷った
- 複雑なTVドラマが理解できない
- 以前よりも疑い深くなった
- 処方薬の管理ができなくなった
- 夜中に急に起き出して騒いだ
- いつも降りる駅なのに乗り過ごした

高齢者の5人に1人が認知症になると予想

厚生労働省の発表によると、約10年後の平成37年には約700万人、高齢者の5人に1人が認知症になると予想されています。自分自身だけではなく、家族が認知症となる可能性があります。

認知症は脳の病気

脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなった結果、障害が起こり日常生活に支障が出る状態（およそ6か月以上継続）が認知症です。認知症を引き起こす病気のうち、もっとも多いのは、脳の神経細胞がゆっくりと死んでいく「変性疾患」と呼ばれる病気です。アルツハイマー病、前頭・側頭型認知症、レビー小体病などがこの「変性疾患」にあたります。

続いて多いのが、脳梗塞、脳出血、脳動脈硬化などのために、神経の細胞に栄養や酸素が行き渡らなくなった結果、その部分の神経細胞が死んだり、神経のネットワークが壊れてしまう脳血管性認知症です。

認知症、 じぶん事。

認知症は年を取ると誰にでも起こりうる病気です。認知症になっても安心して暮らすことができるように、相談に応じるなどしています。ぜひご利用ください。



認知症の知識やサービスをまとめたガイドブックを健康増進課などで配布しています。

地域包括支援センター 保健師 高市朋

相談窓口

業務時間
月～金曜日（祝日・12/29～1/3を除く）8:30～17:15

相談窓口	住所	電話番号
地域包括支援センター 埼玉セントラル	上富 2177	049-274-2080
地域包括支援センター みずほ苑みよし	竹間沢 735-1	049-293-7341
三芳町 地域包括支援センター	藤久保 1100-1 役場1階 健康増進課内	049-258-0019

切です。適切な治療を早い段階から行うことで、症状が改善したり、進行を遅らせる可能性が高まります。また、認知症の中には原因となつている疾患を治療することで、症状の進行が止まったり、劇的に改善することもあります。

ただし、治る可能性のある認知症でも、長期間そのまま放つておいた場合には脳の細胞が死んだり、恒久的な機能不全になつてしまい回復ができなくなつてしまします。

認知症の症状は様々な原因から発症します。「何かおかしい」と思つたら、まずはかかりつけ医などへご相談ください。

若葉サロン 認知症 Cafe

もご活用ください。

夫や妻の介護、実親の介護、義理の親の介護、立場によって悩みもそれぞれ。おしゃべりの中でホッとできたり、介護のヒントが見つかるかもしれません。一度参加してみませんか。☎ 049-258-7540（熊谷）

日程 全日 13:30 ~ 15:30
▶ 藤久保公民館（火曜日）
11月22日・12月20日・1月24日・2月28日・3月28日

▶ みよし台1区集会所（木曜日）
12月8日・2月9日

← 54歳で若年性認知症を発症した熊谷雄介さんと妻くるみさん。夫婦二人三脚で認知症と闘っています。



若年性認知症

65歳未満で認知症を発症した場合を若年性認知症といいます。若年性認知症では働き盛りで、就学期の子どもがいる場合も多く、仕事を辞めることになる経済的な問題が発生することもあります。

また、認知症は高齢者の病気という思いや、仕事の疲れやストレスなどと思って受診が遅れることもあるなど、高齢者の認知症とは違った問題も出てきます。

認知症カフェ開催

認知症の人やその家族、介護者、地域住民など誰でも気軽に集まって話をしたりお茶を飲んだり、自由に過ごすことができる場所を「認知症カフェ」と言います。町では、11月から新しく認知症カフェ（オレンジカフェ）を開催し、認知症になつても安心して暮らせるまちづくりを行っていきます。

開催日程：11月6日@10時から正午 ※毎月1回開催。12月以降の日程は広報などでお知らせします。

場所：デイサービスセンター「けやきの家」☎（257）3232

対象者：認知症の人やその家族、介護の息抜きをしたい人、認知症に関心がある人など、どなたでも。

参加費：100円（お茶菓子代）
参加方法：けやきの家に連絡、または当日直接会場にお越しください。

**若年性認知症
デイサービスを開始**

けやきの家では若年性認知症（40歳から64歳）の人を対象とした若年認知症デイサービスを8月から開始しています。詳細はけやきの家にご連絡ください。